

## 2022-2023シーズン

### フィギュアスケート国際競技会 派遣選手選考基準

国際競技会派遣選手は、以下の選考基準に従い、強化部において候補を決定し、フィギュア委員会及び理事会、選考委員会の承認を経て確定するものとする。

#### 1. 世界フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル3枠・ペア3枠・アイスダンス1枠)

##### (1) 男女シングル

- ①全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ②以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して1名選考する。
  - A) 全日本選手権大会2位、3位の選手
  - B) ISUグランプリファイナル出場者上位2名
  - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位3名
- ③以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、上記①②で選考された選手を含め、3名に達するまで選考する。
  - A) ②のA) B) C) に該当し、②の選考から漏れた選手
  - B) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3名
  - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位3名
  - D) 全日本選手権大会までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会\*<sup>1</sup>におけるシーズンベストトータルエレメントスコア\*<sup>2</sup>上位3名

##### (2) ペア・アイスダンス

以下のいずれかを満たす組から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会優勝組、2位、3位の組
- B) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング最上位組
- C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコアの最上位組

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)  
ただし、過去に世界選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

## 2. 四大陸フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル・ペア・アイスダンス 各3枠)

### (1) 男女シングル

全日本選手権大会終了時に、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会10位以内
- B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位6名
- C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位6名
- D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位6名
- E) 全日本選手権大会までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会\*<sup>1</sup>におけるシーズンベストトータルエレメントスコア\*<sup>2</sup>上位6名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)  
ただし、過去に世界選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

### (2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。

## 3. 世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会

(男女シングル2枠・ペア1枠・アイスダンス1枠)

※ 選考選手の最終決定は、全日本選手権大会時に開催される選考委員会にて決定される。

### (1) 男女シングル

①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。

②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、上記①で選考された選手を含め2名に達するまで選考する。

- A) 全日本ジュニア選手権大会2位、3位の選手
- B) ISU ジュニアグランプリファイナル出場者
- C) 全日本選手権大会参加者のうち上位3名
- D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位3名
- E) 全日本選手権大会までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会\*<sup>1</sup>  
(但し全日本選手権大会を除く)におけるシーズンベストトータルエレメントスコア\*<sup>2</sup>上位3名
  - 当該選考項目におけるシーズンベストトータルエレメントスコアの定義  
(以下2つの中で、高い方を考慮)
    - ・ジュニア競技会におけるトータルエレメントスコアの最も高いスコア
    - ・シニア競技会におけるトータルエレメントスコアから、GOEを含めたステップシークエンスの得点を差し引いたスコアの中で最も高いスコア

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)  
ただし、過去に世界ジュニア選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ 候補選手となるには、当該年度のいずれかの競技会にて、当該年度ジュニアショートプログラムのジャンプ課題を実施し、十分な得点を獲得できる実力を示していることが必要である。

## (2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し、総合的に判断して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は必須である。

## 4. ISU ジュニアグランプリシリーズ

(ISU より提示された出場枠による)

男女シングル・ペアは2022年6月末に開催する派遣選考会において、選考会課題・演技・国際競技力を総合的に考慮して選考する。

## 5. 2023 ワールドユニバーシティーゲームズ

(男女シングル各3枠)

下記(1)及び(2)の条件を満たした選手を対象にワールドユニバーシティーゲームズ派遣選考会を行い、派遣選手を強化部で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。なお、昨年度世界選手権代表選手及び今年度グランプリシリーズ2戦出場選手(但しNHK杯TBD枠を除く)が出場を希望した場合、選考会を免除し、正選手として内定する。

### (1) ワールドユニバーシティーゲームズ候補選手

候補選手指定のために、昨年度強化部が提示した基準を満たし、当該競技会に出場意思を示した選手。

### (2) 選考会対象選手

以下の対象選手を対象に11月に派遣選考会を実施する。

- ①上記内定に該当しないGP出場選手
- ②候補選手の中から東西日本選手権大会の上位2名ずつ(内定選手及び、上記①の選手を除く)
- ③東西日本ジュニア選手権大会3位以内の候補選手

### (3) 選考方法

11月に開催予定の派遣選考会において、国際競技力を総合的に判断し、内定選手含め正選手を男女シングル各3名、補欠選手を男女シングル各3名に達するまで選考する。

なお内定選手を除き、選考会に参加出来ない選手は原則選考対象とはならない。

※選考会対象選手となるためには、指定期日にワールドユニバーシティーズゲームズ派遣前チェックを受けることが必須である。

※選考された選手は、ワールドユニバーシティーズゲームズを辞退して、他の大会に出場する事は認めない。

※選考会において、各カテゴリーで出場選手が6名に満たなかった場合、追加招集をすることがある。

## 6. 世界シンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 1 チーム (B 級戦国際競技会のスコアを含む)
- C) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会までに、強化部が指定したチャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位 1 チーム

※ 最終選考会である全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。

## 7. 世界ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 1 チーム (B 級戦国際競技会のスコアを含む)
- C) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会までに強化部が指定したチャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位 1 チーム

※ 最終選考会である全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。

## 8. その他の国際競技会派遣

その他の国際競技会については、事前に調査した上で強化方針に沿って選考する。

---

### ◆新型コロナウイルス感染症の影響による選考基準変更の可能性について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、選考基準上の対象競技会が延期・実施されない、または派遣できず選考基準の項目を満たせなくなった場合、該当する選考基準項目に関して、再度選考基準および前提条件を設定する。

### ◆新型コロナウイルス感染症による体調不良、感染拡大防止のための出場辞退等に対する対応

- ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による体調不良、感染拡大防止のための出場辞退、その他同感染症に関連する特段の事情により全日本選手権大会を欠場した選手については、今シーズン派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会\*<sup>1</sup>における成績を上記選考基準に照らして評価し、大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

### ◆選考基準における補足事項

- ・各選考基準において、『上位』と記載のある選考項目については、対象資格・対象年齢に満たない選手及び優先する選考項目で選考済みの選手は除外し、繰り上げて対象とする。  
『順位』で指定されている選考項目に関しては、繰り上げは行わない。
- ・補欠の選考に関しては、正選手選考項目に定める成績またはこれに準じる成績の者の中から、最終選考会時点の競技力や将来性を考慮し、総合的に判断して選考する。
- ・ISUが出場のためのミニマムポイントを設定している競技会派遣選考に際し、最終選考会時点で当該競技会のミニマムポイントを持っていない選手・組は、ISUの定める獲得期限日までにミニマムポイント獲得することを条件として選考することがある。
- ・当該国際競技会の派遣において、十分な国際競技力が無いと判断された場合には、派遣枠を満たさない選考を決定する場合がある。
- ・フィギュア委員会が定める派遣基準点、および派遣基準点獲得可能な指定競技会について、ペア・アイスダンスは全日本選手権大会・全日本ジュニア選手権大会各予選競技会前に提示する。

---

#### 〈注釈事項〉

\* 1 強化部が指定した国内競技会とは、以下を指す。

- ・東日本選手権、西日本選手権、東日本ジュニア選手権、西日本ジュニア選手権
- ・全日本ジュニア選手権、全日本選手権

\* 2 シーズンベストトータルエレメントスコアとは、以下を指す。

- ・当該シーズン対象競技会（同一競技会内）における、最も高かったショートプログラムとフリースケーティングの  
Total Element Score 合計得点
-